

憧れの舞台を踏みしめて



選手たちは練習開始のサイレンと同時にグラウンドへ走りだした。

選手たちは多くの報道陣の取材に対応した。



赤鬼の春Ⅱ 26

赤鬼たちが甲子園に帰ってきた

野球部は10時30分からの30分間、練習を行った。練習開始のサイレンとともに、選手たちは勢いよくマウンドへ駆け出した。あいにくの曇り空ではあったが、その曇り空を突き破るような選手たちの声が甲子園球場に響き渡った。ノックやランナーを塁上においてのバッティング練習、紅白戦などを行った。

3月19日、本校野球部は第90回記念選抜高等学校野球大会が開催される阪神甲子園球場で練習を行った。甲子園球場には15校の出場校が集まり、多くの報道陣が寄せ掛けた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

新たなる挑戦始まる

一村中隆之監督

「帰ってきたな。またここから始まる」。村中監督は夏以来の甲子園球場を前に、感慨深げに話された。選手たちの様子について「まだまだ堅い」とのこと。これからまだまだバッティングの調子上げる必要があるそうで、休養重視の夏のときとは違い、これからもどんどん練習をしていくという。笑顔で甲子園を駆け回る選手たち。慶応戦までそう日はないが、まだまだここから力を付けてくれることだろう。



「帰ってきたな。またここから始まる」。村中監督は夏以来の甲子園球場を前に、感慨深げに話された。選手たちの様子について「まだまだ堅い」とのこと。これからまだまだバッティングの調子上げる必要があるそうで、休養重視の夏のときとは違い、これからもどんどん練習をしていくという。笑顔で甲子園を駆け回る選手たち。慶応戦までそう日はないが、まだまだここから力を付けてくれることだろう。

「相手投手は球速が速いので、初めから打つのは難しいと思う。打者が一巡した後、どう打つかが大事になってくるので、しっかり対応していきたい」とやる気を見せた。本番に向けて「初戦を突破して、そこから着実に勝ってチーム力を高めていきたい」と意気込んだ。初めて甲子園練習に参加した宇野圭一郎君(2-6)は「今まで自分が憧れていた場所に立って、喜びと感動が一気に込み上げてきた」と頬をほころばせた。また初戦に向けて「投手戦になるのでロースコアの戦いになると思う。それでも持ち前の集中力で少しのチャンスを活かし、どんどん攻めていきたい」と決意を固めた。